



プラットフォーム イベント フィルタの設定

- ・
 - ・ [プラットフォーム イベント フィルタ \(1 ページ\)](#)
 - ・ [プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化 \(1 ページ\)](#)
 - ・ [プラットフォーム イベント アラートのディセーブル化 \(2 ページ\)](#)
 - ・ [プラットフォーム イベント フィルタの設定 \(3 ページ\)](#)
 - ・ [プラットフォーム イベント トラップの解釈 \(4 ページ\)](#)

プラットフォーム イベント フィルタ

プラットフォーム イベント フィルタ (PEF) は、ハードウェア関連の重要なイベントが発生したときに、アクションをトリガーしたりアラートを生成したりできます。PEF ごとに、プラットフォーム イベントが発生したときに実行するアクション (またはアクションを実行しないこと) を選択できます。また、プラットフォーム イベントが発生したときにアラートを生成して送信することもできます。アラートは SNMP トラップとして送信されるので、アラートを送信するには、先に SNMP トラップの宛先を設定する必要があります。

プラットフォーム イベント アラートの生成はグローバルにイネーブルまたはディセーブルにできます。ディセーブルにすると、PEF がアラートを送信するように設定されていても、アラートは送信されません。

プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope fault	障害コマンド モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	Server /fault # set platform-event-enabled {yes no}	プラットフォーム イベント アラートを有効または無効にします。 プロンプトで y と入力して、プラットフォーム イベント アラートを有効にします。
ステップ 3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。
ステップ 4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォーム イベント アラートの設定を表示します。

例

次に、プラットフォーム イベント アラートをイネーブルにする例を示します。

```
Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled yes
Server /fault *# commit
Server /fault # show Platform Event
Enabled
yes

Server /fault #
```

プラットフォーム イベント アラートのディセーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope fault	障害コマンドモードを開始します。
ステップ 2	Server /fault # set platform-event-enabled {yes no}	プラットフォーム イベント アラートを有効または無効にします。 プロンプトで n と入力して、プラットフォーム イベント アラートを無効にします。
ステップ 3	Server /fault # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。
ステップ 4	Server /fault # show [detail]	(任意) プラットフォーム イベント アラートの設定を表示します。

例

次に、プラットフォーム イベント アラートをディセーブルにする例を示します。

```
Server# scope fault
Server /fault # set platform-event-enabled no
Server /fault *# commit
Server /fault # show Platform Event
Enabled
no

Server /fault #
```

プラットフォーム イベント フィルタの設定

次のプラットフォーム イベント フィルタに対する処理とアラートを設定できます。

ID	プラットフォーム イベント フィルタ
1	温度緊急アサート フィルタ
2	温度警告アサート フィルタ
3	電圧緊急アサート フィルタ
4	プロセッサ アサート フィルタ
5	メモリ緊急アサート フィルタ
6	ドライブ スロット アサート フィルタ
7	LSI 緊急アサート フィルタ
8	LSI 警告アサート フィルタ

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope fault	障害コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /fault # scope pef id	指定したイベントに対してプラットフォーム イベント フィルタ コマンド モードを開始します。 イベント ID 番号に対応する プラットフォーム イベント フィルタ の表を参照してください。
ステップ 3	Server /fault/pef# set action {none reboot power-cycle power-off}	このイベントが発生した場合に必要なシステムの処理を選択します。次のいずれかの処理を選択できます。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • none : システムアクションは実行されません。 • reboot : サーバーがリブートされます。 • power-cycle : サーバーに電源が再投入されます。 • power-off : サーバーの電源がオフになります。
ステップ 4	Server /fault/pef # commit	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

例

次に、イベントに対するプラットフォーム イベント アラートを設定します。

```
Server# scope fault
Server /fault # scope pef 1
Server /fault/pef # set action reboot Server /fault/pef *# commit
Server /fault/pef # show
```

```
Platform Event Filter      Event                                     Action
-----
1                          Temperature Critical Assert Filter      reboot
Server /fault/pef #
```

次のタスク

PEF を設定してアラートを送信する場合は、次のタスクを完了させます。

- プラットフォーム イベント アラートのイネーブル化
- SNMP トラップ設定の実行

プラットフォーム イベント トラップの解釈

SNMP トラップとして送信された CIMC プラットフォーム イベント アラートには、エンタープライズオブジェクト ID (OID) が 1.3.6.1.4.1.3183.1.1.0.event の形式で含まれています。

OID の最初の 10 個のフィールドは、

iso(1).org(3).dod(6).internet(1).private(4).enterprises(1).wired_for_management(3183).PET(1).version(1).version(0) を表し、IPMI プラットフォーム イベント トラップ (PET) バージョン 1.0 メッセージであることを示しています。最後のフィールドはイベント番号であり、通知されている特定の状態またはアラートを示しています。

プラットフォーム イベント トラップの説明

次の表に、プラットフォーム イベント トラップ メッセージで通知されるイベントの説明を示します。これらは、トラップ OID のイベント番号に基づいています。

イベント番号		プラットフォーム イベントの説明
0	0h	テスト トラップ
65799	010107h	温度に関する警告
65801	010109h	温度が重大な状態
131330	020102h	電圧不足、緊急
131337	020109h	電圧が重大な状態
196871	030107h	電流に関する警告
262402	040102h	ファンが重大な状態
459776	070400h	プロセッサ関連 (IOH-Thermalert/Caterr センサー) : 予測障害非アサート
459777	070401h	プロセッサ関連 (IOH-Thermalert/Caterr センサー) : 予測障害アサート
460032	070500h	プロセッサ電力警告: 制限未超過
460033	070501h	プロセッサ電力警告: 制限超過
524533	0800F5h	電源が重大な状態
524551	080107h	電源に関する警告
525313	080401h	個々の電源に関する警告
527105	080B01h	電源冗長性の損失
527106	080B02h	電源冗長性復元
552704	086F00h	電源挿入済み
552705	086F01h	電源モジュール障害
552707	086F03h	電源 AC の損失

イベント番号		プラットフォーム イベントの説明
786433	0C0001h	修正可能な ECC メモリエラー、リリース 1.3(1) 以降のリリース、すべての読み取りタイプを受け入れるように設定されたフィルタ
786439	0C0007h	DDR3_INFO センサー LED : RED ビットアサート (DIMM での ECC エラーの可能性が高い)、汎用センサー
786689	0C0101h	修正可能な ECC メモリエラー、リリース 1.3(1) 以降のリリース
818945	0C7F01h	修正可能な ECC メモリエラー、リリース 1.2(x) 以前のリリース
818951	0C7F07h	DDR3_INFO センサー LED : RED ビットアサート (DIMM での ECC エラーの可能性が高い)、1.2(x) 以前のリリース
851968	0D0000h	HDD センサーでは障害がないことが示されています。汎用センサー
851972	0D0004h	HDD センサーでは障害があることが示されています。汎用センサー
854016	0D0800h	HDD が存在しない、汎用センサー
854017	0D0801h	HDD が存在する、汎用センサー
880384	0D6F00h	HDD あり、障害の兆候なし
880385	0D6F01h	HDD の障害
880512	0D6F80h	HDD が存在しない
880513	0D6F81h	HDD がアサート解除されたが障害状態ではない

イベント番号		プラットフォーム イベントの説明
884480	0D7F00h	ドライブ スロット LED オフ
884481	0D7F01h	ドライブ スロット LED オン
884482	0D7F02h	ドライブ スロット LED 高速で点滅
884483	0D7F03h	ドライブ スロット LED 低速で点滅
884484	0D7F04h	ドライブ スロット LED 緑
884485	0D7F05h	ドライブ スロット LED オレンジ
884486	0D7F01h	ドライブ スロット LED 青
884487	0D7F01h	ドライブ スロット LED 読み取り
884488	0D7F08h	ドライブ スロット オンライン
884489	0D7F09h	ドライブ スロット 低下



(注) すべての読み取りタイプを受け入れるようにイベント フィルタが設定された場合は、16 進のイベント番号のビット 15:8 は 0 にマスクされます。たとえば、イベント番号 786689 (0C0101h) は 786433 (0C0001h) になります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。